

【資料】

令和3年7月19日
武蔵野市障害者福祉センター
あり方検討委員会（第3回）

武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会 中間のまとめ 構成（案）

1 検討の背景

昭和55年に開設後、築40年が経過している障害者福祉センターについて、令和2年度に実施した「建物等劣化状況調査」において、「耐用年数60年にむけて、大規模改修を実施するか、建て替えを実施するか、今後の方針を検討する必要がある」という報告書が出された。それを踏まえ、建物・設備の老朽化に伴う大規模改修や業務のあり方、機能の見直しについて検討を行うこととなった。

2 検討の経過

	時期	検討内容
第1回	令和3年5月25日	障害者福祉センターの経緯、建物見学
第2回	令和3年6月30日	障害者福祉センターの現状と課題
第3回	令和3年7月19日	障害者福祉センターに求められる機能について
第4回	令和3年8月17日	報告書（中間まとめ）

3 現状と課題

(1) 障害者施策推移（法改正、障害者数など）

(2) 障害者福祉センターの経緯

(3) 機能

- ・沿革からも建物からも歴史的な経緯を感じる。
- ・日常生活訓練など丁寧なサービス提供が行われている。

(4) 施設

- ・サービス提供者である福祉人材不足の観点からも、ハード面で整備すべきであると考えられることがある。
- ・重度の障害を持つ方も多いことを考えたら、利用者、職員双方にとって死角がなく、風通しがいいほうがいいが、現状は課題が多い

（裏面あり）

4 これからの障害者福祉センターに求められること

(1) 市が担う意義と役割

(2) これからの障害者福祉センターのあり方

(機能)

- ①障害者の定義
- ②地域の施設としての視点
- ③中途障害などの法外支援のあり方

(施設)

- ①安全確保の視点
- ②サービス提供に見合った施設のあり方

～武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会委員名簿～

